

# 世田谷稲門会会報

平成19 (2007) 年8月10日

第 35 号

世田谷稲門会 一夫次彦行  
 倉島原村内 享邦利明秀  
 世田谷区喜多見 157-0067  
 寺江岩大 157-0067

発行人集  
 発行編  
 事務局 〒157-0067  
 東京都世田谷区喜多見4-33-25  
 東川村保夫方  
 TEL/FAX03-3417-7104

※※※※※※※※※※※※※※※※

## ジャズとシャンソンの夕べ

納涼会 九月八日(土)

### 世田谷稲門会会員が出演

※※※※※※※※※※※※※※※※



平成十九年度納涼会は暑さも一段落すると思われる九月八日(土)午後六時から小田急線参宮橋駅にある代々木倶楽部で開催することになった。

今回のアトラクションは多士済々な人材を誇る世田谷稲門会の会員が出演して会を盛り上げることになった。

第一部はシャンソン歌手花田玲子さん(昭和五五年政経・キャロット会)に出演していただき、ピアノの弾き語りで数々の懐かしい曲を披露していただく。

第二部では寺島邦夫さん(昭和三八年政経・西北会)がニューオルリンズジャズクラブ稲門会の仲間とデキシィラ



ンドジャズを演奏する。会費は七千円(同伴配偶者六千円)。  
 新しい会場 代々木倶楽部  
 (電話三三七〇一三二四一)  
 ライトアップされた美しい庭園を眺めながら、美味しい料理とお酒と音楽を皆様と一緒に楽しむください。  
 暑気払いに多くの方の参加をお待ちしています。

## 母校の今 -10回-

大隈記念タワー (26号館)

梅雨の中休みの7月3日午後、西早稲田キャンパス・小野梓記念館に隣接した「大隈記念タワー (26号館)」の『校友サロン』取材した。

「大隈記念タワー」は昨年の春に竣工したが、その最上階でエレベーターを降り右手のドアを開けると『校友サロン』。早速、受付カウンターで係の橋本伸子さんに案内をお願いした。

オープン一年ちょっとだというサロンは、ソファや椅子は黒で統一され、全体的にスッキリしており、ゆったり感と清潔感に溢れていた。その一角には会議用のテーブル席もあり、さらに奥には最新型のAV機器を備えた個室会議室も備えている。なお、このサロンは、会議のほかに簡単なパーティーにも利用が可能。飲み物類は下のレストランから出前がとれる。

ところで、サロンからの眺めも素晴らしい。広い窓から見下ろすと、西早稲田キャンパスが眼下に広がり、その左手奥には新宿の高層ビル群が立ち並ぶ。さらに、会議室からは市ヶ谷・六本木・虎ノ門方面にある六本木ヒルズ、東京タワーなども一望できる。

取材を終え、機会あれば是非ここを利用したいなあの思いを胸にサロンを後にした。世田谷稲門会の部会・ブロック会議でも利用できる。

【申し込み・詳細の問い合わせ先】

TEL 03-3203-4151  
 (内線2360)



【校友サロン】





# 平成十九年度総会開催



第十六回定時総会は、五月十九日（土）午後五時から「こまばエミナース」で百名が参加して盛大に開催された。会場には、戦後の早稲田の数々の使用された早稲田の数々の応援グッズが展示され、当時を偲んでしばし懐かしい思い出に耽るひと時を持つことが出来た。

総会開催に先立ち、川村事務局長よりこの一年間の会員物故者左記四氏の冥福を祈り、黙祷を捧げた。  
 田中裕幸氏（昭三三年政経）  
 細澤 勲氏（昭三一年政経）  
 （現職副会長）  
 越山八郎氏（昭一七年政経）  
 弥永 正氏（昭一二年法）  
 第一部の総会は、柏良子幹事の司会により平成十八年度事業活動報告と決算報告の承認及び平成十九年度事業計画



案と予算案承認の審議が行われ、何れも満場一致での承認となった。  
 第二部の講演会は、早稲田大学教授の重村智計氏が『拉致問題と日本文学』と題して、朝鮮半島情勢の専門家ならではの鋭い洞察力に基づいたユニークな話題を次々と展開され、満員の聴衆に深い感銘を与えた。重村氏の数々の著書の中でも、今回の講演に関連する講談社新書『朝鮮半島（核）外交』は時流に沿った注目される書籍である。  
 第三部の懇親会は、パーテ

## 世田谷稲門会、平成18年度決算・19年度予算

単位：円

項	目		18年度予算	18年度実績	19年度予算案	備 考
収 入	前年度 繰越	①	1,069,387	1,069,387	895,629	
	年 会 費	②	1,140,000	1,062,500	1,140,000	380名目標
	総 会 会 費	ア	700,000	676,000	700,000	700,000 100名目標
	納涼会 会費	イ	1,000,000	476,000	800,000	110名目標
	新年会 会費	ウ	900,000	805,000	850,000	120名目標
	ア～ウ 小計	③	2,600,000	1,957,000	2,350,000	
	組織強化補助金	エ	400,000	409,000	400,000	
	雑 取 入	オ	0	12,665	0	神保様寄付等
	預 り 金	カ	0	7,000	0	年会費事前受領等
	利息 収入	キ	10	338	400	
エ～キ 小計	④	400,010	429,003	400,400		
収入合計①②③④		5,209,397	4,517,890	4,786,029		
支 出	総 会 費 用	ア	700,000	533,650	700,000	
	納涼会 費用	イ	1,000,000	442,000	800,000	
	新年会 費用	ウ	900,000	706,237	850,000	
	ア～ウ 小計	①	2,600,000	1,681,887	2,350,000	
	総会等予備費	エ	100,000	0	100,000	
	総会等講師謝礼	オ	200,000	135,000	200,000	総会・納涼会・新年会
	エ～オ 小計	②	300,000	135,000	300,000	
	諸 経 費					
	事務用品費		80,000	79,375	80,000	
	通 信 費		200,000	185,690	200,000	各種案内郵送費等
	会報作成費		450,000	498,400	500,000	34号・35号・36号
	事務運営費		100,000	107,111	100,000	本部・事務局・広報
	部会援助費		40,000	0	20,000	
	会 議 費		300,000	261,520	300,000	常任幹事会等
	校友会23区活動費		300,000	205,174	300,000	支部会議等
	HP関連費		60,000	60,000	60,000	
	ブロック会補助費		0	0	0	
	125周年寄付金		250,000	250,000	100,000	目標125万達成済
	15年誌作成費		200,000	13,214	300,000	
	名簿作成費		100,000	68,425	0	
雑 費		50,000	76,465	50,000	コピー代・送金手数料	
諸経費小計	③	2,130,000	1,805,374	2,010,000		
支出合計①②③		5,030,000	3,622,261	4,660,000		
次期繰越金		179,397	895,629	126,029		
合 計		5,209,397	4,517,890	4,786,029		

\* 18年度次期繰越金内訳・小口現金29,305・普通預金398,209・郵便貯金468,115

イー会場へ移動し、土倉享一  
 会長の挨拶に続き、鈴木宏治  
 幹事長より早稲田大学創立一  
 二五周年記念の年に当たる今  
 年の稲門祭の福引券購入に出  
 来るだけ協力して貰いたいと  
 の挨拶があり、各テーブルで  
 購入意欲が高まり、世田谷稲  
 門会への大学からの割り当て  
 二百五十枚（東京二十三区  
 中で最多）に対して、百七十  
 九枚の驚異的な購入協力とな  
 った。  
 懇親会は例によってバイキ  
 ングスタイルの料理と飲み放  
 題とで大いに盛り上がった。  
 締めくくりは、岩上健一副会  
 長の鮮やかな手捌きとリード  
 で校歌の斉唱となり、最後に  
 川村保夫副会長の閉会の挨拶  
 で和やかに散会となった。





**2007 稲門祭 & HOME COMING DAY**  
**& 創立125周年**

**10月20日(土)**  
 ●ホームカミングデー式典  
 ●卒業年次の会(式典終了後)  
 ●稲門祭アトラクション

**10月21日(日)**  
 ●創立125周年記念式典  
 ●稲門祭アトラクション

グローバル  
 ユニバーシティへ、  
 第二の建学

早稲田大学創立一二五周年の本年稲門祭は「拓け！ワセダ新世紀」をキャッチフレーズに二日間にわたって開催される。二十日(土)は例年の稲門祭と同様に大隈庭園での模擬店、福引抽選会、新装なった大隈講堂での「校友音楽祭」、八号館では「校友講演会」が開催される。

二十一日(日)は午前中の一二五周年式典招待者や校友・一般参加者を対象に校友プロによる大隈講堂での「校友音楽祭」や庭園での「模擬店」(一部)が催される。

世田谷稲門会では今年も大隈庭園で焼き鳥販売を行なう。また露木茂さんが音楽祭や校友講演会の司会を務めるほか寺島邦夫さんの「ナインティウエストジャズバンド」が二十日の校友音楽祭でニューオルリンズジャズクラブOBバンドとして出演する。また夜も早稲田ナイトとして都内ライブハウス等で演奏会が開催され、同バンドは高田馬場「カフェ・コトバンクラブ」にて演奏する予定。

なお、稲門祭福引券割り当て二五〇枚(五〇万円)は六月初旬に完売し、記念品の申込みは六月中に完了している。

## 部会だより

### スポーツ観戦

6月2日、東京6大学野球春季リーグ戦早慶1回戦を観戦しました。今春の早稲田は斎藤佑樹投手の入学効果と期待通りの活躍で、神宮球場は異常事態といわれる中での観戦でした。試合当日は大混雑が予想されたため、大学当局より入場及び観戦について万全を期すよう忠告があり、10時に集合して直ちに入場しました。特に入場券は発売と同時に内外野席とも完売で入手困難なところ岩上副会長(世話人)ご尽力により、学生応援席最前列で観戦できました。試合は慶大エース加藤選手の好投の前に3-7の惜敗でした。試合後は祝勝会を残宴会に変えて外苑前ますだやで行い、2回戦の勝利と優勝を期待して懇親会を楽しみました。(写真は早大広報課提供)



(観戦外追記)翌3日の早慶戦第2戦は9-5で快勝し、2季連続39回目の優勝を達成しました。また全国大学各リーグ戦の優勝校で争う全日本大学野球選手権は6月17日決勝で東海大と戦い4-1で勝利し、33年ぶりに日本一になりました。

スポーツ観戦部会では今秋も強い早稲田を期待して野球早慶戦とラグビー早明戦の観戦を予定していますので、多数の皆様のご参加とご協力をお願いします。

(岸田 正和/記)



## 食べ歩き

(1) 2月25日、第31回例会を開催。参加者29名。閑静な上野の杜に囲まれた韻松亭で会席料理を堪能した。今回初参加の山崎暁子（平成9年教育・11年理工研）、西村准也（平成17年商）両氏の自己紹介のあと、世話人各位からの諸報告や韻松亭の説明等があり、関根昌一氏の乾杯発声で懇親会が開宴。この日が82歳の誕生日の同氏を祝福するかのように、寛文6年以来毎日つかれてきた寛永寺の「時の鐘」が正午を告げるまさに絶妙のタイミングであった。会席「清流膳」を賞味し銘酒「国稀」の美酒に酔い、談論風発は尽きず、大いに盛り上がった。柏良子副会長の中締め挨拶で閉会。解散後は三々五々上野公園内に散在する東叡山寛永寺の諸堂や東照宮をはじめ数々の歴史的遺産を巡り、往時を偲んだ。



(2) 4月1日、第32回例会を開催。参加者32名。今回は港区広尾にある「セパージュ」でイタリア料理を賞味し、ワインの美味を堪能した。外国公館も多く閑静な中にも国際色豊かな広尾地区の外苑西通り（通称地中海通り）に近い南欧雰囲気の良いレストラン



で会食しながら会員相互の親睦を深めた。上田忠雄氏の乾杯発声のあと開演。懇談は弾み、会場は大いに盛り上がった。世話人各位からの諸報告の他、水島豊氏の中国旅行「砂漠の大画廊・敦煌とシルクロードの要路・蘭州を訪ねる旅」の概要説明・参加要請があった。昼食会閉会後は春光眩しく5月下旬並みの陽気となった昼下がり、ソメイヨシノが満開となり黄色い菜の花が咲きこぼれる有栖川公園を散策し、花見を楽しんだ。

(大須賀 肇/記)

## 囲碁将棋

梅雨の真っ盛りの6月30日（土）、「囲碁サロン石庭」にて、世田谷稲門会囲碁の会を開催。参加者総勢10名。商議員で校友会幹事の志水一夫8段を迎えて碁戦を行う。早稲田囲碁部出身の大庭8段も指導碁に加わり、世田谷稲門会囲碁部もかなりレベルがアップして来た。武藤6段が順当に勝ち進む。一局又一局と局面が変わる。一手一手に力がこもる。囲碁上達の秘訣のひとつに、良くでてくる碁の定石の形と手順を正確に覚えておくことが必要だといわれる。手順がうろ覚えだといつまでたっても進歩しない。定石は万を数えるほどあるが、やみくもに覚えても直ぐ忘れるし、長く覚えていられない。ただし、自分が打った碁に良くでてくる定石を整理して、その定石前後の手順を正確に並べなおして手順の妙を知り、どこが悪かったかを検討すれば、結構頭に残る。特に、負けた原因を自分なりに追究することも記憶の一助になる。なお、最近ではインターネットに入会し、そこで打つと、自分の打った碁の棋譜がとってあるので、そこでもう一度並べなおすと、結構勉強になる。最初の50手位まで見ないで碁盤に再生できればもうしめたものである。頭に囲碁の回路ができるので、それだけで進歩したといえる。

時間がたつのも早いものだ。5時半まで対局し、後は中華料理の懇親会場へ。ここでも囲碁談義。志水8段より最近の125周年にまつわる早稲田囲碁部の近況の報告があり、そして、又、懇談。9時をまわった頃に懇親会場を後にした。

(矢田 廣/記)

## ウォーキング

6月24日午後1時JR上中里駅に8名が集合。最初に『地震の科学館』（写真）で、震度7を体験し、余りの激震に皆へたり込んだまま身動き出来ず。

次の『紙の博物館』では、紙の歴史と木材から紙が出来るまでの説明を聞きながらの館内見学。

更に、江戸時代の名所『飛鳥山公園』と落語でお馴染みの『王子の狐』を祭る『王子稲荷』や『名主の滝』を巡って5時に王子駅にて解散。

ウォーキング部会は、毎月1回都内及び近郊の江戸、東京の半日散歩を楽しんでいますのでぜひ一度参加してみてください。

(江原 利次/記)





## 釣 り

今年は年初より天候不順により桜開花予報も変更されたりしたので、釣りも内面海面のいずれも貧果に終わった。1,2月の東京湾でのあいなめ、めばる釣りは参加した部員もがっかりだったと思う。小生単独の3月からの解禁溪流釣りは、岩魚、あまご、にじます28cm級が数も出、4月には、岩魚42,40センチも釣れ好漁だった。今年より鮎のベテラン近堂氏に案内され、佐原向地、霞ヶ浦の細の乗込み鮎をねらったが、3月17、8日釣果無く、4月28日に2匹の貧果であった。5月12、13日東伊豆伊東港にて堤防釣り。8名。偶々釣れていた鯛釣りとなってしまった。早め目に上がり、伊豆高原荘の温泉につかり、吉村氏奥様の手手作り料理をいただいた。夕食前にウイスキー一本空け、食事にいいちこ一本飲み、麻雀を二回囲んだ。楽しからずや。



5月27日 銚子外川八せ丸より出船。中あじ大漁、成田さん130匹、柴田92匹、中あじは仔を持ち美味であった。6月5日西伊豆土肥港とびしま丸より出船。真鯛50cmを釣り上げた。6月24日東京湾口松輪沖へ利一丸より6名の仕立船で大あじ、鯖釣り、国沢さん合計36匹の大漁。関あじ、関鯖と同等の美味と言われる高級魚である。7月29日も予約した。6月30日江戸川で初めての手長えび釣り、4名参加し10数匹の釣果。10月28日門前仲町富士見よりはぜ天ぷら船での木更津沖行きを計画している。一般の方も申込みOKです。写真は昨年の参加者。

(柴田 昇/記)

## 麻 雀

麻雀部会は発足以来9年経過し、10周年に向け一層の充実を図るべく尽力中です。これもひとえに会員の皆様の暖かいご支援の賜物と世話人一同感謝しております。直近の活動状況を報告します。

1. 4月21日(土) うららかな春の一日、祖師谷大蔵の麻雀荘「天狗」(以下会場は同じ)21名の紳士淑女が集い、腕と舌を十二分に生かし闘った。試合はベテランの磯田氏が初回から飛ばし楽勝かと思われたが、秋元、田島両氏の猛追を受けたものの、歳の功で辛うじてかわし、久し振りに優勝を遂げた。優勝・磯田稔、準優勝・秋元孝禧、3位・田島功統、4位・河村卓郎、5位・江口力、6位・阿部信之、7位・脇坂元彦

2. 5月13日(日) 穏やかな晩春の一日、勘と腕に自信の20名の善男善女が集い、和気あいあいの中に闘志を秘め上位入賞を競った。試合は初回、快気祝いを贈られた寺沢氏が半チャン88点をたたき出し楽勝かと思われたが、後半尻上がりに実力を発揮した上保、脇坂氏らに抜かれ4位に甘んじた。優勝・上保幸夫、準優勝・脇坂元彦、3位・河村卓郎、4位・寺沢隆夫、5位・橋本大道、6位・吉村善智、7位・下谷内堯

3. 6月16日(土) 梅雨の晴れ間の一日、22名の腕自慢が集い、丁々発止の展開を楽しんだ。試合は、初回出遅れた木村氏が尻上がりに調子を上げ、2位以下に大差をつけ久し振りに優勝した。優勝・木村滋、準優勝・河村暉子、3位・寺沢隆夫、4位・磯田稔、5位・江口力、6位・河村卓郎、7位・柴田昇。

当部では女性の参加者を募っています。初歩より手ほどきしますので、お問い合わせください。

(下谷内 堯/記)

## カラオケ

日本文化の海外進出の一つにカラオケがあるが、香港で久しく目にしていた「上下OK」(カーオーケー)の文字も現地にはしっかりと根付いている。わがカラオケ部会の本年3回目の例会が6月23日、いつもの通り三軒茶屋の「カラオケ会館」でプロ歌手の賀川じゅんを迎えて盛大に行われた。今日を晴れの舞台にと鞆には歌詞一杯をしたためたファイルを大事そうにして練習に励んでこられた田中先輩、メモに自分の得意とする歌詞をぎっしり書き貯めて出番を待つ陰山先輩、男もほれ込む美声の鈴木幹事長、多忙の合間を縫って参加した初当選、最年少の西村議員の音頭歌などなどが、102歳を今年迎えた最長老の内藤翁の力強い発声の乾杯で始まり、熱唱で沸く。とにかくもカラオケ好きの集まりだけに心根が違ふ。聞くも真剣、



歌うも楽しいで、賀川プロのカラオケの心構え、1.ビブラートはやらない、2.マイクはこぶしひとつを開けた距離で、口元にまっすぐを持って、3.発声ははっきりと、のカラオケ教室を織り込んでの4時間である。18名の参加者を4班に分けてそれぞれの部屋で思い思いに、人の歌は真剣に、自分の歌には惚れ込んで酔いしれるひと時であった。それにつけても翌日の六本木でのカラオケコンテストに向け、皆が帰った後、同じ場所でも一人練習に励む齊藤部会長の姿には頭が下がる。

(荒井 清/記)



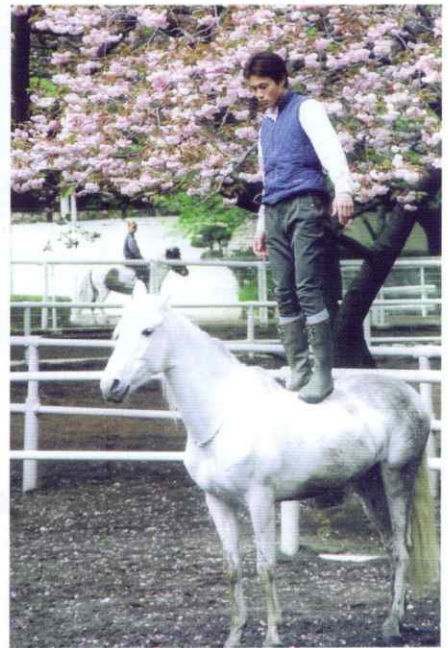
第二回 稲門写真館



ハレの日 インド  
麻生卓司 (昭34政経)



大道芸人 濱離宮  
川村保夫 (昭34商)



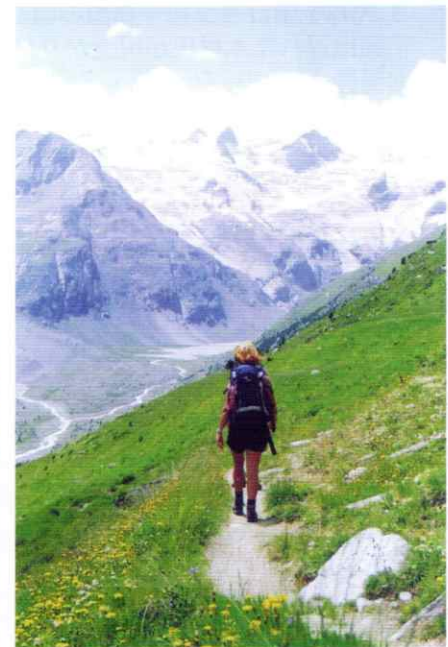
桜下ショー 世田谷  
豊田 宏 (昭34教)



新緑の奥多摩  
守谷之男 (昭29理工)



古都奈良 興福寺  
鈴木宏治 (昭38商)



ワンダー フォーゲル  
浮田靖彦 (昭34法)





世界の棚田 中国  
高橋 毅 (昭39商)



春の兆し  
種谷鴻成 (昭31理工)



スズラン 自宅  
岡田吉郎 (昭35理工)



奥多摩の春  
小池福子 (昭39文)



井の頭公園  
関根昌一 (昭23法)



老木 武州村  
若林昭男 (昭31理工)



特訓：未来のエースへ  
上田忠雄 (昭26理工)



物売り モロッコ  
桜木武比古 (昭21法)



## ゴルフ

当ゴルフ部会は4月より平成19年度のシーズンに入り早くも2回のコンペを開催いたしました。

今回は、第50回記念(中津川CC)及び51回(大月CC)コンペの模様をご報告いたします。

第50回記念コンペは4月6日(金)中津川CCにおいて本年も満開に近い桜の下に開催されました。参加者54名と言う記録的な大人数となり、記念大会を一層盛り上げました。又、記念品として会員ネーム入り“創作ボールマーカー”を渡し、プレーでは組対抗戦も企画され、優勝を目指し一段と熱き戦いが繰り広げられました。その結果、次の方々(敬称略)が熱戦を制し記念大会に花を添えられました。

優勝者総合：桃井 清治、Gシニア：江口 力

シニア：竹村 晃、レディース：森 春野

組対抗：青木、桃井、蒲原、森春野チーム

次に、第51回コンペが6月8日(金)大月CCにおいて開催され、記念大会後であったにもかかわらず33名の会員が参加され、晴天、新緑の映える中素晴らしいコースコンディションの下に一日プレーを楽しみました。当日はクラブが企画した「ワンストロークプラン(1打百円X打数)」に参画しプレー費の節約にも挑戦、好スコア続出のコンペとなりました。そして各クラスの栄えある優勝者は次の皆様でした。

優勝者総合：斎藤 正憲、Gシニア：水野 義一

シニア：山内 章次、レディース：森 春野

今後のコンペ開催予定は下記の通りです。ぜひ皆様のスケジュールに入れていただき多数のご参加をお待ちしております。

9月13日(木)：第52回相模湖CC

11月20日(火)：第53回飯能GC

(なお、総長杯コンペは11月5日(月)おおむらさきCCにて開催されます。)

(熊谷 慶紀/記)



(左より 竹村さん、江口さん、森さん、桃井さん)



(左より 山内さん、森さん、斎藤さん、水野さん)

## ボウリング

当部会は平成8年9月発足、翌年7月渋谷稲門会と合同開催をスタートさせて、毎月1回世田谷オークラブウルで例会を実施してきましたが、来る10月には120回目の記念すべき月例会を迎えることになります。

最近の活動実績は次の通りです。

4月1日(日) 参加者12名。151点江口力、151点斎田裕二、145点高橋順子

江口さん、斎田さん、シーソーゲームを展開して見応え満点、同点トップはお見事!

高橋順子さんもターキー(3連続ストライク)を出して大健闘。

5月20日(日) 参加者10名。152点佐山順孝、149点江口力、136点高橋善一郎

佐山さん、スピード豊かな投球で、江口さんも絶妙のコントロールで高得点。高橋さんも2連続ストライク、4スペアを出して敢闘賞。

6月は日曜日が団体貸切のため予約とれず休会。

7月8日(日) 参加者15名。170点佐山順孝、160点江口力、146点武藤哲

前回に引き続き佐山さんはほとんどミスのない投球で、江口さんも年齢を感じさせぬ尻上がりの好調さを見せて共に高得点!

ボウリングは全天候型、全年齢型で性別にも関係がなく、技術差があっても一緒にできる競技。3ゲームの運動量はかなり高いのですが、1レーン2~3名で交代して投球しますので疲労感は少なく、健康の維持管理にも最適のスポーツ。初心者も気軽に始められますので、思い切って参加して一緒に楽しみませんか!!

(武藤 哲/記)

## ブロック会だより

## 玉川

「競馬観戦会」

6月10日(日)JRA府中競馬場貴賓室にて競馬観戦会が行われた。浜田会長ご夫妻を始めとして、家族、知人合わせて8名の参加であった。競馬は大部分が初心者であり、ベテランから馬券の買い方などの指導を受けた。ベテランの郡山さんには、色々指導して頂いたが、そのせいか?ご本人の成績はあまりかんばしくなかったとのこと。ビギナズラック?で7000円獲得した山本さん。ご主人様が50000円獲得し、夜はフルコース予定の江口さん。淡々と儲け、淡々と損した?平井さん、井澤さん。悲喜こももも、それぞれの楽しみ方で、あっという間に1日が過ぎた。

「ゴルフ会」

5月25日(金)雨天のもと、東松山CCでゲスト4名(青木さん、菊池さん、熊谷さん、守谷さん)とコースメンバーの後藤さんのご参加を頂き、総勢19名で玉川会ゴルフ会が行われた。(うち女性は田村さん、山本さん)雨にも負けず、風にも負けず、熱心なプレーがあちらこちらで見られた。優勝は玉川会の平井さん。雨天、難コースの中、グロス89の堂々たる優勝であった。ここ数回は、ゲストに優勝をさらわれ、玉川会としては悔しい思いをしていたが、平井さんのおかげ名誉挽回が出来た。ビショ濡れとなったが、一同、「もう一度晴れた日にチャレンジしたいね」との感想をもって、無事ゴルフ会を終えた。

(真木 郁夫/記)



## 千 歳

第9回千歳会は京王線八幡山駅近くの和風レストランで下記の通り開催。

日時：7月7日(土)午後6時～8時

場所：藍屋(世田谷八幡山店) 参加者：14名

今回から会員相互の情報交換や人生経験披露など、毎回2～3名で各10～15分のスピーチをしてもらうことになり、トップバッターとして小生と矢尾板幹事が担当。まず矢尾板さんから、地方勤務の折、現地の稲門会と接触し好印象を得て帰京後、世田谷稲門会に入会するまでの経緯と現状についての話を、小生から戦中戦後の学生時代の思い出、社会人になってからの仕事上の処世訓、良好な人間関係を保つための人生訓そして心身両面における健康法等を披露。

並行して親睦の宴を開催。ビール、和洋酒、ソフトドリンク等はお替り自由、各人お好みのものを注文し、和風料理に舌鼓をうちながら盃を交わしての2時間、四方山話に花をさかせての楽しいひととき。本部鈴木幹事長からの稲門祭、スポーツ関連、納涼会等の状況報告、蒲原幹事からの会計報告等あり、次回の再会を約して散会。終わって有志6名で近くのカラオケ店に移動、各人得意の曲を5～6曲熱唱、楽しい思い出を残して帰路につきました。(武藤 哲/記)

## き ぬ た

当会は、昨秋の「成城・街 散歩と昼食の会」以降、しばらく「間」があいてしまいましたが、来る8月24日に「講演会+夕食会」を催す運びとなりました。

講演会 講師は、当きぬた会会員の犀川千代子氏(早大卒の初の女性弁護士です)

演 題 「私の弁護士体験～弱者のがわに立って～」

場 所 世田谷区立砧図書館 ホール

夕食会 サンド・アソシエータ 成城店

ご承知の方も多いと思いますが、犀川さんは、「多摩川水害」「スモン」「水俣病」等の国家賠償請求訴訟のほか「霊視商法」「ココ山岡事件」「商品先物取引被害訴訟」等々の事件を一貫して、「弱者のがわ」というスタンスで法廷の場に立ってこられました。

普段、殆ど縁のない「裁判」というものについてどんなお話が伺えるか楽しみにしながら、準備を進めているところです。(吉村 豪介/記)

## キャロット

母校は、6大学野球春のリーグ戦の制覇に続き、全日本大学選手権でも33年ぶりの日本一となり、125周年の節目とも重なって、話題に事欠かない夏になりました。

キャロット会でも9月上旬に暑気払いを兼ねた懇親会を開催します。席上、会員の佐野暢彦さん(昭和34年法)から“透明水彩”に関する蘊蓄を傾けていただき、また新進区議の風間ゆたかさん(平成7年政経)から世田谷区政に携わる抱負を聞かせていただけたら、と期待しています。

(萩原 健/記)

## さ くら

第12回さくら会懇親会は、6月10日(日)11時30分より桜新町の『ラ・ピアンタ』にて参加者19名により開催された。当日は、本部から鈴木宏治幹事長が出席され、完売間近の稲門祭の福引券の購入に最後の協力をお願いしたいとの挨拶があり、大きな成果を得ることが出来た。今回から、親睦会の中で順番に各自の人生経験を話してもらうことになり、第1回のスピーチを前原祖彦さんをお願いしたところ、戦後の日本経済の発展と重なる変化に富んだ体験談となりました。

なお、さくら会で勉強かたがた楽しんでいる「古美術研究会」と「俳句の会」の活動状況が報告された。最近はその内容も充実してきているので、ぜひ他のブロックの会員にも参加してもらいたいと思っています。古美術や俳句に興味のある方はご一報下さい。参考資料を差し上げます。

連絡先：江原利次 電話・FAX 5760-7118

さくら会俳句の会の活動状況

俳句の会は、高橋悦男先生(早稲田大学名誉教授)から事前に出された兼題(例えば5月は麦飯)とその季節に相応しい句を持ち寄り、誰の句か解らないようにお互いに書き直してから、夫々好きな句を選んで得点を付け合っていて楽しんでいます。参考までに、6月の特選句(高橋先生が選ばれた句)と高得点句(参加者の選んだ句)を紹介致します。

6月の句会 兼題 (蝸牛:かたつわり)

特 選 傘立の二つ並びて梅雨に入る  
でで虫や時失ひしごと歩む  
蝸牛一夜千里の道光る

江原 利水  
山元 楊柳  
田中 勝

(江原 利次/記)





# 「会員のひろば」

## 歌右衛門桜 世田谷・早稲田・歌舞伎

青木 誠司

(昭和四五年商)

「歌右衛門桜」が早稲田大学本部キャンパス内にあるのをご存知だろうか。二〇〇二年十一月二十日、中村歌右衛門の長男中村梅玉が列席し贈呈セレモニーが行われた。故人が終の棲家とした世田谷区岡本の庭にあった「うこん桜」が遺贈されたもので、本来演劇博物館の周辺に移植される予定であったが、諸般の事情により、本部キャンパス十四号館横庭に移植された、と聞いている。ただ今現在、前商学部建物の解体・建設工事の仮囲いの中であり、今年は残念ながら見る事ができない。

六代目中村歌右衛門(一九一七〜二〇〇一年)は戦後を代表する真女形で歌舞伎界に最高峰として君臨した名優であり、名実ともに当代随一の名優であった。屋号は成駒屋で、人間国宝でもある。御

曹司として何不自由ない幼年時代を過ごしたが、先天性の左足脱臼が悪化して数年寝込み、幼年期に大手術を行ってやっと歩けるようになったといわれる。このため歌右衛門の左足は生涯不自由なままであった。



実父は五代目中村福助であるが、あまりにも若かったため、五代目歌右衛門が養子とする。実父没後、六代目福助を襲名するが後ろ盾がなく、後見者すらいなかったことから、吉右衛門劇団に入り、七代目中村芝翫を襲名し、初代中村吉右衛門の相手役として頭角を現す。やや辛辣な言い方をするが、この間の「落魄」の思いが、「女帝」として梨園に君臨する遠因となったとも言われている。吉右衛門が得意とする丸本歌舞伎の舞台に多く出演することで、戯曲に対する解釈力と役の把握を深

め、古典的な様式美と近代的な心理描写の手法を着々と身につけていった。一九五一年には再建なった歌舞伎座で六代目中村吉右衛門を襲名する。得意としていた大役の数々、「祇園祭礼信仰記」の雪姫、「鎌倉三代記」の時姫、「本朝廿四孝」の八重垣姫という、いわゆる三姫や「籠釣瓶」の八つ橋などを丁寧演技、舞踊「隅田川」は海外でも高い評価を得た。四代目中村雀右衛門、五代目坂東玉三郎、九代目中村福助などの指導を行っている。

二〇〇一年三月三十一日に八十四歳で死去した。死の当日は、桜の咲く中で雪が舞うという劇的な気象であったという。養子に四代目中村梅玉、二代目中村魁春、芸養子に中村東蔵がいる。

演劇博物館は正式には「早稲田大学坪内博士記念演劇博物館」という。  
<http://www.waseda.jp/enpaku/index.html>

一九二八年十月、坪内逍遙の古希の祝いと「シエークスピア全集」全四十巻の翻訳が完成したことを記念して設立

された。以来、日本国内はもとより、世界各地の演劇・映像の貴重な資料を揃えており、錦絵四万六千枚、舞台写真二十万枚、図書十五万冊、その他衣装・人形などの演劇資料五万二千点をあわせて数十万点にもおよぶ膨大なコレクションは、演劇人・映画人ばかりでなく、文学・歴史・服装・建築はじめ様々な分野の方々の研究に貢献している。

建物はエリザベス朝時代十六世紀イギリスの劇場「フォーチュン座」を模して設計され、正面舞台にある張り出ししは舞台になっている。入り口はその左右にあり、図書閲覧室は楽屋、舞台を囲む両翼は棧敷席、建物前の広場は一般席となる見立てである。このように建物自体が、ひとつの劇場資料となっている。六世中村歌右衛門を記念した特別展示館(非常設)も展示されている。

「うこん桜」は「鬱金桜」とも「黄桜」ともいい、クリーム色から黄緑色の八重花を咲かせる珍しい里桜で、「そめいよしの」からは半月位遅れて開花する。ちなみに清酒黄桜

は、創業者が大好きな「うこん桜」から命名したという。早稲田大学に縁の三人の役者を紹介しよう。

六代目中村東蔵 屋号は加賀屋である。時代物でも世話物でも、老若男女を問わずにさまざまな役を演じる実力者で、色街の女房や二枚目、さらに「助六」の通人から「引窓」の老母まで、どんな役でもさりげなく演じて、さすがに東蔵は上手いと思わせる、貴重な役者である。皆様には是非この名前を覚えて頂き、注目して頂きたい。

一九三八年生まれ。舞踊家藤間紫の弟で、映画・舞台などに出演のち、中村歌右衛門の芸養子となった。芸養子とは入籍はしないが、実子扱いされる存在をいう。本名を河野均といい、一九六一年早稲田大学文学部演劇科卒で、奥様ともども私が在籍した早稲





田大学歌舞伎研究会の先輩でもある。

**九代目松本幸四郎** 屋号は高麗屋で、ご存知「ラ・マンチャの男」である。「勸進帳」の弁慶や「俊寛」の俊寛僧都など当代独自の芸風を確立し、近年ますます風格が出てきており、世話物にも意欲を燃やしている。「勸進帳」の弁慶は、現役の役者で最多上演記録を更新中である。その一方、ミュージカル「王様と私」を主演するなど、活躍は多岐にわたる。

一九四二年生まれ。八代目松本幸四郎（初代松本白鸚）の長男である。早稲田大学文学部演劇科中退であるが、暁星時代の成績は抜群だったといわれる。長男に市川染五郎（九代目）、長女に松本紀保、次女に松たか子がいる。

**二代目中村吉右衛門** 屋号を播磨屋という。現代歌舞伎を代表する立役の一人で、堂々たる体躯と陰影に富む台詞回しで多くのひいき筋を持つ。「仮名手本忠臣蔵」の大星由良之助、「義経千本桜」渡海屋・大物浦の知盛、「俊寛」の俊寛僧都など義太夫狂言の立

役の第一人者」として活躍している。「極付幡随長兵衛」の幡随院長兵衛などの世話物、「井伊大老」の井伊直弼などの新歌舞伎にいたるまで芸域が広い。

一九四四年生まれ。八代目松本幸四郎（初代松本白鸚）の次男である。母方の祖父・初代吉右衛門の養子となり、現在に至る。松本幸四郎とは兄弟にあたる。早稲田大学文学部仏文科中退である。

来年のゴールデンウィーク前には「歌右衛門桜」が見えるかもしれない。演劇博物館への訪問がてら足をお運び頂くのも一興かと思われる。（早稲田大学歌舞伎研究会OB）。

### 趣味のビデオでボランティア

安井 壽々代  
(昭和二十九年教育)

今から十五年ほど前、還暦近くになった私は女学校時代の同級生に「記念にビデオをつくらない？」と持ちかけました。参加希望者は一九名、当時はビデオカメラが一台あるだけで、編集機もなく、ひたすら作りたいという一心だ

けでした。たまたまメンバーのご子息に、現在も活躍中のアナウンサー 畠山智史さんがいて、おそらく見かねたのでしよう、ご多忙の中、構成をつくり、ナレーションを入れてくださいました。タイトルは「豊女三七期 今を生きる一九人」。厳しい時代を生き抜いたたたかな友人たちとの記録ビデオです。

ビデオを作るにはただ撮るだけでは駄目と知り、これをきっかけに私は以来一〇年間、青山のNHK文化センターの映像塾に週一回通うことになりました。

また世田谷ボランティア協会に牟田悌三さんが立ち上げた「世田谷V2」というビデオでボランティアをするグループがありました。隅田川で



行われるウォーターフェアーレガッタの撮影に参加して、目に留まったのが『幻の早慶戦』でした。伝統の早慶レガッタで、たった一度記録のない昭和一九年の再現を、生き残りの元クルーが実現したのでした。私はこれを風化させてはいけなないと、当時のことを取材させていただき、小さな作品に仕上げました。

翌年このことがきっかけで大会委員長から、伝統の早慶レガッタの映像記録を依頼されました。そこで文化センターの元報道カメラマンで同窓の城田宗和先生に総指揮と編集をお願いして、教室の早慶OBと仲間合わせて七人が参加しました。（早稲田学報・一九九七年七月・八月掲載）

世田谷区では平成三年より、福祉セミナー企画会を立ち上げ、初めて区民参加の企画をしました。平成六年には、ご近所の植木等さんにお話をしていたいただきました。第三庁舎のブライトホールが絨毯まで埋め尽くされる超満員で、参加者数を読めなかった企画員は反省しきりでした。

当然年間を通しての企画を練るので、区内の福祉機関と

関わります。岡本町にある「泉の家」は障害者の授産施設です。ここでは利用者五〇人が働きながら暮らしています。折しも「自立」を促す活動のカリキュラムが組まれていて、その記録を撮り続けました。重い口から真情が吐露される座談会や、玉川の繁華街で声を上げてチラシを配る障害者の健気さに胸の熱くなるのを禁じ得ませんでした。

さらに、社会福祉協議会主催の全国大会や「子育てサロンのすすめ」。保健所主催の「貯筋体操」。今年まとめたのが「クッキングカー」による出前型食育講座で、平成一八年度に一二回開催されたものを二九分に仕上げました。去る平成一五年には、町内会主宰の地域活性化のイベントが、NHK放送技研の講堂で開催されました。この時の撮影を吉村豪介氏にお願いし、立派な映像で編集させていただきました。大変喜ばれました。

“メカ音痴がメカとの戦い”ですが、豊かな出会いを浴びるように頂きました。そして世はハイビジョン時代に突入です。学ぶことはいくつになっても一杯です。

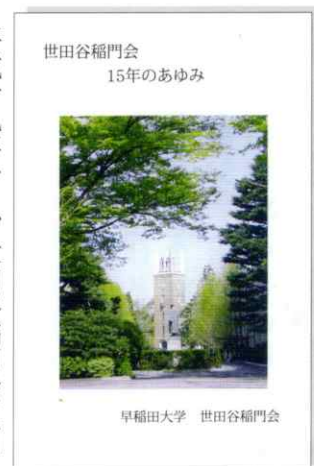


新入会・休会・退会の正誤・住所移転等のお知らせ

「名簿（平成18年4月発行）・会報34号記載事項」以降（敬称略）

〔新入会員〕					
氏名	卒年	郵便番号	住所	電話	FAX
梅田 和子	昭47・文	個人情報につき不掲載			
〔退会会員〕					
氏名	卒年	退会理由			
渡邊 秀郎	昭25・政経				

世田谷稲門会「十五年のあゆみ」を発行



平成十九年一月、世田谷稲門会は創立十五年を迎えた。表記記念誌はこの記念すべき節目の年に当たり発行したものである。

たかが十五年とはいえ、されど十五年この記念誌の発刊に必要な資料は平成十二年以降は整備されていたもの。それ以前の資料はほとんどなく僅かに当時の関係者の早稲田学報への寄稿文等があり、大学校友会で旧資料を調査し取り纏め編集委員の記憶等により補強したもので、不明部分もあることをご了承いただきたい。

ともすると感傷的になりがちな十五年のあとを冷静にみつめ記録したものであり、これによって過去の世田谷稲門会の姿があらためて想起され、さらに今後のよりよき脱皮のよすがともなれば望外の幸である。

なお編集委員会の委員氏名は次の通りである。

編集委員長 大須賀肇（昭26理工）  
編集委員 柏 良子（昭31政経）  
川村保夫（昭34商）  
土倉享一（昭34政経）  
下条忠彦（昭34政経）

また記念誌の配布については五月十九日の第十六回定時総会出席者には当日配布しました。当日の欠席者には八月初旬、発送する納涼会（九月八日）のご案内に同封発送します。



土倉享一さん



柏 良子さん



大須賀肇さん



下条忠彦さん



川村保夫さん

〔追記〕文中校正ミスがありました。お詫びして訂正します。

〔正誤〕

P.11 武藤 哲 誤（昭29法）  
正（昭28法）

世田谷稲門会「十五年のあゆみ」

編集委員会

部会紹介

部会名	代表世話人	連絡先	会員数	年会費	活動内容
ゴルフ	森 昌治	電話/Fax3414-6219	95名（男性84名・女性11名）	2000円	年4回コンペ開催
麻雀	下谷内 亮	電話080-5540-0245	55名（男性48名・女性7名）	1000円	親睦会毎月1回 勉強会毎月1回（除8月）
ボウリング	武藤 哲	電話/Fax3302-2607	15名（男性13名・女性2名）	無し	毎月1回 日曜日
釣り	柴田 昇	電話3700-1290 Fax3567-3318	18名（男性18名・女性0名）	1000円	毎月第一土日は溪流/磯釣り/川釣り 月末日曜は船沖釣り（大物・小物）
食べ歩き	大須賀 肇	電話/Fax3309-0688	63名（男性50名・女性13名）	1000円	年4回（原則2月・4月・9月・11月）
囲碁・将棋	矢田 廣	電話3700-1388 Fax3700-1388	29名（男性29名・女性0名）	無し	年6回開催 第1土曜日か又は第1日曜日
カラオケ	蒲原 信一	電話/Fax3307-8368	46名（男性37名・女性9名）	1000円	1月新年会・3月・6月・11月例会 9月旅行
ウォーキング	江原 利次	電話/Fax5760-7118	33名（男性24名・女性9名）	1000円	毎月第2日曜。3月・6月・9月・11月は第2土曜
写真	種谷 鴻成	電話/Fax5433-7052	18名（男性17名・女性1名）	1000円	2ヶ月に1回例会または撮影会
スポーツ観戦	岸田 正和	電話/Fax3704-2642	61名（男59名女性2名）	参加者から1000円	春秋の野球早慶戦、ラグビー早明戦他 会則あり